

産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和4年5月20日（金）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和4年5月20日（金）午前11時0分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
2番 鼻岡 美保君 7番 佐々木雄司君 11番 治徳 義明君
13番 金谷 文則君 16番 佐藤 武文君 18番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
産業振興部長 是松 誠君 建設事業部長 高橋 渉君
農 林 課 長 矢部 勉君 商工観光課長 大崎 文裕君
地域整備推進室長 森本 祐司君 建 設 課 長 福圓 章浩君
上下水道課長 中務 浩行君 農林課参事兼
赤坂支所 産業建設課長 石井 徹君 地域整備推進室参事
熊山支所 産業建設課長 砂子 武久君
吉井支所 産業建設課長 岡田 浩司君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 土井 常男君 副 参 事 野田 順子君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他

午前10時0分 開会

○副委員長（治徳義明君） 皆様、おはようございます。

本日、金谷委員長が遅参の御連絡をいただいておりますので、その間、私、副委員長であります治徳のほうが進捗させていただけますので、どうかよろしく願いいたします。

ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

今回、閉会中の委員会ですので、特に必要のない場合は市長、副市長、支所長には出席を求めないということなので、御了承をお願いいたします。

また、換気のため、委員会室の出入口と窓については開けたまま進めさせていただきたいと思っておりますので、御協力をよろしく願いいたします。

それでは、協議事項1番目、事業の進捗状況について、産業振興部から説明をお願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、産業振興部の事業の進捗について、農林課、商工観光課、それぞれ担当課長より御報告申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部資料の1ページを御覧ください。

事業の進捗状況でございます。

まず、(1)がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金でございますけれども、農業販売額が減少した農業者に対して交付させていただき支援金でございます。

それから、(2)がんばろう赤磐コロナ対策収益向上補助金のほうですけども、こちらは農業機材等の導入に対する補助でございます。

これら2つの事業につきましては、現在おおむね順調に進捗しております。

それから次に、(3)でございます。

松くい虫特別防除事業についてでございますけれども、これは委員の皆様よく御存じのとおり、森林病虫害を早期かつ計画的に駆除しまして、その蔓延を防止することにより、森林資源を保護するとともに森林機能の発揮を図ることを目的に毎年継続して実施しておりますけれども、今年度につきましては御覧のように5月24日から25日までの2日間の日程で実施する予定でございます。

なお、昨年度と比較しまして、空中散布の事業面積は全体で269ヘクタール減少の305ヘクタールとなっております。これまで県を交えて森林の植生状態を確認しながら事業を実施してまいりましたが、次第に広葉樹林化が進んでおります部分における森林機能の発揮について、問題なかろうと判断された部分を除外しております。また同時に、事業の安全対策の徹底それ

から事業効率の観点から昨年まで実施しておりました戸津野、仁堀、石のエリアは事業区域から外れており、これらは見直しの結果、資料でお示ししております事業規模となっております。

なお、空中散布のエリアから外れた地区におきましては、今後必要に応じて伐倒駆除や薫蒸など、松くい虫駆除の手法を変えて対応を行ってまいることとしております。

資料3ページには熊山地域の実施位置図、4ページには吉井地域の実施位置図をおつけしております。それから、資料の5ページには松くい虫被害対策の概要、それからさらに資料6ページには松くい虫の被害発生メカニズムということで、これは毎年おつけしてるんですけども、こういう形で資料を載せておりますので、後ほど御確認をいただきたいと思っております。

安全対策といたしまして、事業計画を事前に地区関係者それから付近通行人に周知するとともに、散布日直前には関係地区に防災無線で周知を図っております。また、散布区域周辺において、薬剤が付着してはいけないものや場所を事前に確認し、安全に散布するよう事業計画を立て、散布時にはその周辺で薬剤の飛散がないことを確認しております。

松くい虫は以上でございますけども、7ページを御覧ください。今度は資料が横向きになっております。

この資料は、発注の予定価格が250万円以上の工事や委託業務の進捗状況につきまして、市の建設工事等の発注見通しの公表に関する事務取扱要綱によりまして、当委員会では四半期毎に御報告させていただいておりますものでございます。

農林課におきましては、今年度、農業振興地域整備計画の見直し業務を、それから森林環境譲与税の関係で森林経営管理計画等支援業務、それから就農等支援センターの暫定造成工事を予定しております、これから業者の選定に取りかかりますので、今後各事業の進捗をお知らせしてまいります。

農林課の事業進捗状況の御報告は以上でございます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 続きましてそれでは、商工観光課より事業の進捗について御説明をさせていただきます。

資料の8ページをお願いいたします。

(1) がんばろう赤磐コロナ対策飲食店感染防止奨励金につきましては、岡山県が第三者認証制度を延長することにより、令和4年度も事業を継続しているものでございます。

5月13日現在、令和3年度からの累計で交付決定件数47件、交付決定額940万円となっております。内訳につきましては、令和3年度分が45件で900万円、令和4年度につきましては2件、40万円となっております。

岡山県の第三者認証、赤磐市内の飲食店53者が認証済みと聞いております。承認手続完了後

で補助金申請手続がまだの方には、早期に申請を行っていただきますよう御案内をしております。

続きまして、(2)番、熊山英国庭園スプリングフェスタにつきましては、5月7日、8日の2日間、コロナ対策として出入口で来場者の連絡先等の把握、検温、手指の消毒、マスク着用など対策をとりながら、3年ぶりの開催となりました。

磐梨中学校吹奏楽部の演奏で開幕し、地元コーラス愛好家の方々による歌やキッズダンスグループのパフォーマンス、日曜日には白陵中学、高校生のコーラスなどのステージイベントや展示コーナー、模擬店などが出店し、約2,100人の来場者があり、新緑の園内で多彩なイベントを満喫されておりました。

今後、英国庭園を活用して観光PRを図っていきたいと考えております。

当日の状況写真を添付しておりますので、御確認ください。

続きまして、(3)商工観光課所管事業につきましては、次のページ、資料9ページに一覧表で掲載させていただいております。

事業費1件250万円以上でございます。

上段です。

がんばろう赤磐コロナ対策観光・飲食店支援事業につきましては、4月27日にプロポーザル方式でRSK山陽放送株式会社さんを候補者として選定し、5月11日付で契約締結済みでございます。

中段、施設維持管理事業では、城山公園大型堅穴遺構屋根改修、リゾートハウスこれさと空調設備改修工事を予定しております。

下段の観光振興対策事業につきましては、赤磐市サイクリングルートPR事業、こちらのほうを3か年計画の2年目で、5月31日にプロポーザル審査会を実施予定でございます。また、令和3年度の赤磐市サイクリングルートPR事業の実績につきましては、アプリ登録者数623名、プレゼント応募者数295名で、20か所のチェックポイントを全て回られた方は77名おられました。12月から2月までの寒い時期でございましたが、たくさんの方に参加をいただいております。

以上で商工観光課から御説明を終わります。

[委員長交代]

○委員長（金谷文則君） すみません。ちょっと遅参いたしました大変申し訳ございません。

それでは、続けてお願いをしたいと思います。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 先ほどの産業振興部の説明、少し補足をさせてください。

資料の7ページ、9ページの事業一覧表の中で契約額の欄が空白の部分がございます。これ

らにつきましては、発注準備中の案件でございます。これまでの委員会の資料では未発注の案件も事業費の見込額を表示しておりましたが、昨今、県内外の他の自治体において、工事発注に関わり単価、予定価格などに関するトラブルが発生していることを鑑みまして、またこの資料が市の情報公開条例に定められている公文書に当たりますので、一般公開されているということから、今後の発注等に係るトラブル予防のため、契約済みの案件のみ金額を報告させていただきたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

なお、この後で説明いたします建設事業部資料につきましても、同様の考えで資料調整しておりますので、御理解をいただきたいというふうに思います。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明に対して産業振興部のほうの質疑がございましたらお願いいたします。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 今是松部長のほうから御説明いただいた空白にしている件ですけども、私もそのとおりでとても大切な視点だと思います。一方、例えば今道の駅であったりとか、既に終わったお話ですけども、庁舎の改築の工事であったり、こういったようなものというのは、事業規模というものが我々議会としましてもどのぐらいのものなのかというところをお知らせいただく、いただかないと、この審査において費用対効果などをしっかりとはかっていくことができないと、要するに賛否を示すことができないということがあるんですけども、そういったような場合にはどのようにお考えなられていらっしゃるのか、補足して御説明いただけたらと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） ただいま御質問でございますが、事業規模をはかるためには、予定の事業費など必要だと思います。先ほど説明させていただきましたように、この資料、活字になったものが公開されていくということでございますので、この委員会の中でそういうあたりの議論、それから情報の提示はさせていただくべきものというふうに考えております。

以上でございます。

○委員（佐々木雄司君） 結構です。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） 今のちょっと補足なんです、次の建設事業部の資料のほうに今回、これまでつけておりませんでしたけども、14ページ以降に、今佐々木委員がおっしゃったように、事業規模っていうのを、ここが一番議員の皆様にご議論いただく部分だと思います。こういった複数年にまたがるような大きな事業、先ほど道の駅というお話もありましたけども、こういう大きい事業につきましては、事業規模感みたいなものが分かるような、こういった形で資料のほうをこれから皆様に御提示したいなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

今の件ですけれども、これ産建だけというわけにはいかない、同じようなことだろうと思えますので、議長のほうもおられますし、議会としてどういうふうな形で進んでいくのかというのは一遍、それこそ全協か何かで皆さんで共通認識を持っていかないと、大変重要なことで、議員としての責任を果たすために、それで問題ないのかどうかということも含めて、共通認識を持って、それで赤磐市議会は進んでいったほうがいいのじゃないかなと思うんですが、皆さん、お考えいかがでしょうか。

佐藤委員、いかがでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほど委員長が言われたように、こういうことをされるときには、事前に議会のほうに連絡あるいは調整をしていただいてやられるというやり方のほうが私はいいと思うんです。今日、この委員会の中で唐突にそのようなことを部長のほうから申し上げられたということに対して、私は今えっという感じを持っておりました。そういうことの中で、内部で調整をされて議会に諮られて、今後のやり方についてこういうやり方をするということをお示しいただくほうが私もいいと思いますので、そういうやり方をとっていただきたいというふうに思います。今日のことについては結構ですけど。

○委員長（金谷文則君） 他に、どうでしょうか、皆さん。そういう方向で。

じゃあ、すいません、議長がおいでになりますけども、そういうな格好で考えていただけるようにお諮りいただければありがたいので、よろしく願いいたします。

執行部のほうもよろしいでしょうか、そういうふうな方向。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） じゃあ、ありがとうございます。

他に質疑ございませんでしょうか。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 農林課さんをお願いしたいんですが、(2)のがんばろう赤磐コロナ対策農業収益向上補助金の中身についてなんです、たしかこれは高齢化やあるいは省力化と

いうところで、農機具などを共同購入される際に支出していただく補助金だという御説明だったんですけども、最近省力化というところでいいましたら、ICTの活用、これが言われたりしてるわけですけども、例えば水の管理であったりとか、そういったようなところにICTを活用しますよということで、水利権者がまとまって応募するような場合っていうのは対象になるのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま佐々木委員から御質問いただいた水利権者の方々が集って申請なさる場合とか、そういった団体さんとかそういったものはもちろんオーケーになります。ICTの活用とかいろいろありますけども、農業機械とかこういう機材って幅広いんですけども、たてりが結局新型コロナウイルス感染症の拡大によりということで、非接触型機械とか設備とかいろいろ、人が集まって作業してるのが分散した、それから省力化が図れたというところと合致していけばもちろん対象になってまいりますから、御安心いただきたいと思えます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 松くい虫特別防除事業についてただいま御説明いただいたんですけども、松くい虫には効果がある、少し前に請願が出てきて否決もされたところでもありますけども、効果、安全性なんかの議論があったところでもありますけども、その議論の中で地元の要望がありますというようなお話があったと思うんですけども、今回296ヘクタールを削減されてるんですけど、地元等の調整はどのようになっているのか、御答弁をお願いします。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま治徳委員から御質問いただいた件でございます。

もちろんこの事業につきましては、毎年実施する前に地元様に御意向をお聞きします。もうだんだんとやめていってほしいなとかというたりするその意見もございます。それと、どんどんこれからもやってくれよとおっしゃる方もいらっしゃいますし、これについては地元さんいろいろ温度差がありますけれども、その中でこちらも、先ほど御説明でも申しましたように、現場を見させていただいてやっていく事業なものですから、そういった対応でさせていただ

ております。もちろん地元さんの御意見は毎年伺っております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金について、先ほどの課長の説明では順調にこのことについては推移しているというような説明であったわけですが、相談件数が128件に対して交付決定額65件、要するに半分、あと半分の方の対象にならなかったその原因というのは何かあったのでしょうか。そのことについて説明いただきたいと思えます。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 佐藤委員の御質問でございます。

相談件数128件と申しますのが、これがいろいろな内容でございます。必ず合致するかどうかということもありますし、この支援金はこういった内容なのかとかというようないろいろなお問合せです。交付決定件数も65件とこの時点では申しとりますけれども、まだそれから、御相談いただいてから申請をちゃんと真面目になさって交付決定まで至っているというのも、実際としては数字は伸びてきてますので、また引き続き御報告させていただきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 要するに交付決定額が982万円、その今言う982万円というのは、非常に金額的には少額の金額ではないかなと。要するに、この支援金について、非常に書類的に農家の方々が申請をされるのに難しいんじゃないかなということもちょっと危惧しておるんです。いろいろな添付資料等々も必要なことも言われておったので、なかなかそういうことについて農家の方々が非常に申請しにくいというような面があるんじゃないかということをお願ひしておるんですけど、その点についていかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま佐藤委員が言われた添付書類等のことについてでござい

ますけれども、これらについてもできるだけ私どもも、必要最小限ではないんですが、これだけは必要だろうというもの取りそろえていただくようにはどうしてもお願いする形になります。これも、国庫の補助金を使っていくものでございますから、必要なものは必要なものとして最小限整理させていただいておるつもりでございます。

以上です。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 私が一番心配しておるのは、要するに大規模農家の方にとってはやりやすいと、一番困っておられるのは小規模農家の方々であって、小規模農家の方々にとっては非常にそういうふうな書類的な面については苦手である、またそういう面について、日々そういうようなことについて整備をされておられない、急にそういうようなことを言われても、なかなかそれをそろえるというのが難しいというのが私は現状ではないかなと、小規模農家の方々が非常にその点について困っておられるんじゃないかなということを私は心配をしておるんであって、そういう方々に対して先ほどの説明では非常に手を差し伸べていただいておりますので、1つは安心はしておるんですけど、そういうことを私は親身になって相談に乗っていただきたいというふうに思いますけど、いかがでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 佐藤委員が危惧なさっておられることは、我々もこの制度をつくるに当たっては大変いろいろ苦慮したというか、悩んでまいりました。その結果、今コールセンターも立ち上げておりますけれども、そういったところで皆様にできるだけきめの細かい御相談に乗れるように努力はしておりますので、もうちょっと、この7月過ぎまで期間がございますから、頑張っただけでございますのでよろしく申し上げます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいですか。

○委員（佐藤武文君） もう一個。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） もう一点、農業収益向上補助金のことについて、このことについても私のところにいろいろ方が相談に来られて、これは大規模農家を対象にした補助金ではないかというようなことの中で、いろいろな苦言を言ってこられた方もございます。その中で、その後対策を取られたようなことも若干聞いておりますけど、この交付決定の10件の方については、地域、要するに地区が対象では恐らくないのではないかなと、大規模農家の方が対象で交付決定を受けられておるのではないかなというふうに思うんですけど、このことについて、地

区が対象になっておるということを、どういうふうな形で推奨されておられるかということについて御説明いただきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま佐藤委員から御質問いただきましたことにつきましては、私たちが周知というところで、完全にきめ細かく皆さんに御理解いただいてないのではないかという心配もございます。その結果、各区長様、それから中山間地域等の直接払いの組織があると思うんですけども、そういったところへも分かりやすい文章で最近ですけれども送らせていただいております。

そういうことで、皆さんにできるだけ使っていただきたいということで努力を重ねてまいりますので、これからもまたそういうお声がありましたらお聞かせいただきたいと思うので、よろしくをお願いします。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 分かりました。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、産業振興部のほうを終わって、次は建設事業部のほうをよろしく願いいたします。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） それでは、建設事業部の事業の進捗につきまして担当課のほうから説明をさせていただきます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課の説明をさせていただきます。

建設事業部資料の1ページをお願いいたします。

1、事業の進捗状況について、(1)事業の進捗状況に係る報告について、2ページから5ページをお願いいたします。

2ページには、令和3年度から令和4年度に繰越しをした主要事業を記載しております。

それぞれ早期完成に向けて事業を進めておりまして、工事概要、契約額、請負業者などを記載しておりますので、御確認をお願いいたします。

また、他工事との工程調整などによりまして、現在発注できていない工事、業務がありますが、できるだけ早急な発注ができるよう努めてまいります。

続きまして、3ページから5ページに令和4年度における250万円以上の主要事業を記載しております。

現在のところ、早期発注に向けて測量、設計を行っておりまして、今後の委員会において進捗状況の報告をしております。

なお、先ほど部長のほうから説明がありましたが、14ページから17ページに年度初めということになりますので継続中であり主要事業の概要を添付しております。事業効果の早期発現に向け、早期完成を目指し、事業を進めてまいります。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） それでは続きまして、上下水道課から事業の進捗状況についての御報告をさせていただきます。

建設事業部資料の7ページをお開きください。

(1)事業の進捗状況に係る報告ということでございます。

資料につきましては、8ページ、9ページでございます。

まず、8ページです。

こちらは、令和3年度から令和4年度に繰り越した主要事業の一覧でございます。

まず、上の表が水道事業で、下水道工事に伴う水道管移設工事が2件、中段からが下水道事業関係で、下水道の整備工事に関わるものが5件、計画の策定業務などが2件で、合計7件でございます。それぞれ早期完成に向け事業を進めておりまして、既に現地が完了しているものもございます。地区名、件名、概要などを記載しておりますので、御確認いただきたいと思います。

続いて、9ページをお開きください。

こちらは、令和4年度の上下水道課主要事業を記載しております。

上段につきましては、水道事業、下水道工事に伴う水道管移設工事、配水管の改良工事、またそれらに伴う設計業務など、11件を予定しております。中段からは、下水道事業でございまして、汚水管渠埋設工事また計画策定など、11件を予定しております。これらにつきましては、それぞれ早期発注に向け、設計、積算また地元調整を行っておるところでございます。

以上で上下水道課の進捗状況についての報告を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 続きまして、地域整備推進室の事業の進捗状況について説明をさせていただきます。

建設事業部資料の12ページを御覧ください。

1、事業の進捗状況について、(1)事業の進捗状況に係る報告についてでございます。

資料の2ページを御覧ください。

こちらは、令和3年度から令和4年度に繰越しをいたしました主要事業で、都市計画総務費関係の番号2、立地適正化計画に係る資料作成業務を繰越しをしております。早期完了を目指してまいります。業務の概要、事業費などを記載しておりますので、御確認をお願いいたします。

続きまして、資料5ページを御覧ください。

令和4年度の地域整備推進室の主要事業を記載しております。都市計画総務費の番号2と3でございます。事業名、概要、事業費などを記載しておりますので、御確認をお願いいたします。

なお、番号2、赤磐市「道の駅」基本計画策定等業務につきましては、公募型プロポーザル方式により株式会社エイト日本技術開発中国支社と令和4年4月27日付で契約を締結しましたので、御報告をさせていただきます。

この業務の主な内容としましては、令和2年度から行っている立地適正化計画策定等検討協議会の議論などを踏まえながら、赤磐市の道の駅に求められる機能や施設とその規模、整備に係る概算事業費などの検討、それから道の駅を視覚的にイメージできる図面の作成などを行っていくものです。また、より魅力的な施設にしていくために、整備や経営の面での民間のアイデアやノウハウを活用した事例など、様々な事例も集めながら基本計画を作成していきたいと考えております。

なお、この基本計画の策定は、道の駅の事業化をしていくための最初の段階の作業でございます。関係の皆様への概要説明や御意見をお伺いしていく際の資料になるものでございます。また、今後必要となる予算、事業規模の見込みを立てていくための根拠資料にしていくものでございます。

委員会にも適宜御報告し、御意見などをいただきながら進めていきたいと考えております。

地域整備推進室からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございました。

以上ですね。

それでは、建設事業部の説明が終わりました。

質疑等ございましたらお願いをいたします。

どうでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） じゃあ、質疑はないようでございますので、次に移りたいと思います。

続きまして、協議事項2番目、その他に入ります。

その他について執行部から説明をお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部の資料で2ページになりますけれども、御覧いただきたいと思います。

2のその他でございます。

(1)の農林業就業奨励金の贈呈についてでございます。

この奨励金は、毎年お渡ししてるんですけども、地域農業の中核的な担い手として活躍が期待される39歳以下の新規就農した農業者に送られます。

今回は、奥吉原地区で営農されております、平成生まれの若いお二人の農業者に対して贈呈をさせていただいております。お二人ともぶどう等をされておまして、かなり頑張っておられますので、今後が期待されるお二人でございます。

農林課からの御報告は以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） お聞きするんですけど、写真がありますが、多分左の2人は受賞をされた方だろうと思うんですけど、真ん中は市長がおられて、その右の方はどなたなんですか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長

○委員長（金谷文則君） はい、お願いします。

○農林課長（矢部 勉君） これは普及センターの所長さんです。

○委員長（金谷文則君） そうですか。

○農林課長（矢部 勉君） はい。

○委員長（金谷文則君） この方も市の職員さんかなと思って、すいませんがちょっと説明をいただけたら理解しやすいんで、よろしく願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） はい。すみません。

○委員長（金谷文則君） 他にはございませんでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、続きまして産業振興部が終わりましたので建設事業部のほうお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、2、その他について、建設事業部資料の1ページを開きください。

(1) 6月議会提出予定議案についてとなります。

まず、令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）について、建設課としまして、8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費で桜が丘地域と山陽一円地域の舗装修繕工事で起債事業の割当てがありました。また、交通安全施設整備でも、補助事業の割当てがありまして、財源の確保ができたことによりまして、工事請負費を4,124万8,000円増額する予定としております。

続きまして、令和3年度赤磐市一般会計予算繰越計算書について、資料6ページをお願いいたします。

農業費の小規模土地改良事業として977万6,000円、小規模ため池補強事業としまして8,601万2,000円、道路橋梁費の道路維持管理事業としまして674万7,000円、道路改良事業としまして1億126万7,000円、河川費の施設維持管理事業としまして440万円、都市計画費の宅地耐震化推進事業としまして1,030万3,000円の繰越しが確定しましたので、報告する予定としております。

続きまして、資料の1ページにお戻りください。

(2) 番、今井地内太陽光発電施設に係る裁判の結果についてとなります。

以前の委員会で報告しておりますけれども、赤磐市今井地区におきまして太陽光発電事業を予定する事業者によりまして、令和2年に当市を相手とし、当市が当該開発事業に係る関連施設管理者として不同意としたことについて訴訟が提起されておりました。第一審、控訴審ともに当市が勝訴したため、当該事業者が最高裁判所へ上告受理申立てをしておりましたが、このたび令和4年3月11日付で上告棄却及び申立て不受理の決定がされたことから、当市の勝訴判決が確定しましたので、御報告いたします。

以上で建設課のその他についての説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

他にございますか。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） それでは続きまして、上下水道課から御説明をさせていただきます。

きます。

建設事業部資料の7ページを御覧ください。

2、その他といたしまして、(1)6月議会提出予定議案について御説明いたします。

資料の10ページをお開きください。

水道事業会計、下水道事業会計ともに、令和3年度から令和4年度への繰越しが確定した旨の報告を予定しております。

まず、上段の表が、令和3年度赤磐市水道事業会計予算繰越説明資料でございます。

水道事業費用、営業費用、企業団施設整備負担事業として5,000万円、資本的支出、建設改良費、水道建設改良事業で5,013万6,000円、合計1億13万6,000円。

次に、中段からの表が、令和3年度赤磐市下水道事業会計予算繰越説明資料でございます。

資本的支出、建設改良費、管渠整備事業で3億401万6,000円でございます。

続きまして、(2)の水道料金等のスマートフォン決済の導入についてでございます。

資料の11ページをお開きください。

このスマートフォン決済の導入につきましては、水道や下水道利用者の利便性またサービス、そして納付意欲の向上、またこういった技術が世界的に普及している中で、少し大きく言いますと、デジタルトランスフォーメーションの一環としても導入について検討をしております。現在コンビニエンスストアでの支払いにつきましては既に対応しておりますが、その委託業者と契約することによりまして、新たな契約金や委託料が発生せず、このスマートフォン決済が導入できることから、今回支払い方法に新たにこのスマホ決済を6月から追加したいと考えております。このスマホ決済によりまして、自宅はもとより、どこからでも支払いができるようになります。反面、領収書が発行されないことや納付書がそのまま手元に残ることから、二重に支払いをするおそれがあることなど注意点もございます。今後、こういったことをホームページまた広報によりまして皆様にお知らせをする予定としております。

なお、この資料につきましては、未定稿とさせていただきます。現在レイアウトの見直しなどをしておりますので、御了承いただきたいと思います。

それから、水道メーターの2か月検針への対応状況につきましてでございますけれども、4月は検針を行わず、この5月が移行後初の検針となっております。お知らせ票の様式変更などもありましたので、初回の検針につきましては問題のないよう、十分注意を払いながら現在検針を進めております。

また、このことにつきまして、市民の皆様からの御意見といたしましては、なぜ2か月検針にするのかなどの御意見をいただきました。このような御意見につきましては、市の考え方や方針を説明させていただきまして、御理解いただけたと考えております。

今後も、こういった御意見を参考に上下水道事業の運営を行っていく必要があると考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

以上で上下水道課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続きまして、お願いします。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 続きまして、地域整備推進室から御説明をさせていただきます。

建設事業部資料の12ページを御覧ください。

2、その他としまして、(1)6月議会提出予定議案についてでございます。

令和3年度赤磐市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について、資料の6ページを御覧ください。

令和3年度から令和4年度へ繰越しが確定した旨の報告を予定しております。表の一番下、赤磐市立地適正化計画策定事業に係る委託料324万5,000円を繰越しをしております。

理由としましては、新型コロナウイルス感染症の影響によって立地適正化計画策定等検討協議会の開催に遅れが生じ、会議結果を反映させた資料の作成や協議会委員への資料確認に時間を要したことによるものでございます。

続きまして、12ページに戻っていただきまして、(2)立地適正化計画策定等検討協議会についてでございます。

資料の13ページを御覧ください。

令和2年度からこれまで4回の検討協議会を開催し、委員の皆様の御意見を反映しながら策定を進めてきたところですが、今年度も引き続き協議を重ねていく予定にしています。次回第5回の検討協議会では、中間取りまとめとしてこれまでの検討結果の振り返りと併せて、新拠点エリアに誘導すべき都市機能を検討していく予定にしております。開催日程は、できるだけ早い時期の開催を目指して現在調整中でございます。

また、この立地適正化計画は、将来にわたり持続的に発展できる都市づくりを進めていくため、都市計画マスタープランの高度化版として居住や都市機能の誘導区域を設定していくものであり、市民の皆様の御理解をいただきながら進めていく必要がございます。したがって、第5回で中間取りまとめを行った後に、都市計画の見直しの必要性や再編の方針などをできるだけイメージしやすく整理した資料、チラシのようなものを作成しまして、市民の皆様にお知らせをしていく予定にしております。適宜委員会に御報告しながら進めていきたいと考えております。

地域整備推進室からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

他にございませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、ただいま説明が終わりましたので、その他につきましての質疑等ございましたらお願いいたします。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 水道料金のスマートフォン決済についてなんですが、せんだっての3月定例議会におきまして、クレジット決済、バーコード決済、こういったようなものの導入というものにつきまして御検討というものはないんでしょうかということで御質問させていただいておりました。市長の御答弁の中にもありましたし、担当課のほうが、多分総務課さんのほうが、総務部のほうがお答えいただいたんじゃないかなと思うんですけど、今そんなことは考えてませんと言われる答弁の何か月後かにこれが出てきたんですが、これはいつぐらいから御検討されてらっしゃったんですか。昨日今日検討してすぐ決まるもんじゃないですよ。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 検討自体はかなり前から考えておりましたが、実際に運用できるかどうかということにつきましては、前年度の終わりぐらいからのお話ということでさせていただきます。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ありがとうございます。

こういった具合にDX、デジタルトランスフォーメーションが本市で進むということにつきましては、とてもすばらしいことで、ぜひぜひこれを皮切りにいろいろな分野にも取り入れていっていただきたいなというふうに思う次第ですが、この利用できるスマートフォンアプリというものを拝見いたしますと、よく聞く会社の名前としましては2社ほどございますが、そのほかの会社さんというのは、私もこんなものが決済システムとして会社さんがあるんだと思われるようなものです。

電子決済の利点といいますものが何であるかといいますと、そのアプリケーションを入れておけば、どこでも誰でもどんなときにも使えるというのが最大の利点なわけですけども、果たしてここに出ております3社ほどの会社さんですけども、この会社さんのアプリケーションを入れて、入れることによって水道料金の支払いはできるんでしょうけども、水道料金の支払いだけにこのアプリケーションを入れていただかなければいけないという事態になってしまうんじゃないかなと想像するんですが、これ以外の会社さんでこのアプリケーションで決済できるようにする予定があるのかないのかと、あとこの会社さんを選ばれたというのは手数料の関係みたいところで選ばれたのかどうなのか、その選定基準みたいところが分かれば教えて

いただきたいと思ひます。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 佐々木委員のスマートフォンアプリの5社の選定理由ということでございます。

こちらにつきましては、現在コンビニ収納、こちらをするために業者と委託しております。そちらが、地銀ネットワークサービス株式会社というところと既に契約をして、コンビニ収納を始めております。その業者と新たに契約をすることによって、委託料等が発生せずはこちらのスマホアプリの業者とやることができる、ということである地銀ネットワークサービス株式会社が提携している5社ということで今回選定をしたということになります。その他の業者につきましては、新たな契約またそれに係る委託料等が発生することから、今回はその他の業者については見送っておるということでございます。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ありがとうございます。事情のほうは分かりました。手数料とかで余計な経費が発生するようでしたら、業務に支障を来したり関係する事業者さんに支障を来したりすると思ひますので、それはそれでということにいたしまして、しかしながら社会的にデジタルトランスフォーメーションを進めていきたいと思いますという動きの中で、当該自治体の動きとして、社会的な機運というものが反映することについて、予算の支出というところに踏み込むことができないというのは、社会インフラのお話なんだと思ひます、これも一つの。道路だとか水道だとか下水だとかというような、その社会インフラには力を入れるけども、国民生活、県民生活、市民生活に関する社会生活に力を入れない、予算が取れないというのは、私はどうかなというふうに思っているんですが、こちら辺の検討度合いというか、進み具合としては担当課としてどのようにお考えになられていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 今回まずそういった経費のかからない方法で手始めにこういったことを始めるということやらせていただこうと思ひておまして、今後この決済方法がどういう広がりを見せていくのか、そういったことを今後収納状況や経費の面を十分見極めながら、これが順次進んでいくようであれば新たな決済業者の導入も考えていく必要があると思ひておます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

他にございませんでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 6ページの繰越明許の関係で、資材不足により予定どおりの資材を入手することが困難であったためという理由を書かれておられるんです。その中で、一番私が今危惧してるのは、社会情勢の中でこういうふうな資材の不足あるいは資材の高騰によって、非常に今後の工事に支障が出るんじゃないかなということが予測されると思うんです。そのことについて執行部の中でどのような検討されとられるかということについて考えをお聞きしておきたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 先ほどの佐藤委員の御質問ですけれども、資材不足、資材の高騰に関しては、私どもも認識をしております。それにつきましては、資材の高騰に関しては、市場単価によりまして県の統一単価等々で積算させていただいておりますけれども、その資材単価、県統一単価も市場単価によりまして上昇していくように考えておりますので、単価については県の統一単価を基にして積算をしていこうと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） それはよく分かるんですけど、その後に、要するに資材が入らない、あるいは資材が高騰したために、入札後においてもそういうふうな問題が発生するんじゃないかなということが私は懸念されるんじゃないか、昨今の世界情勢を見て、非常にそういうことが懸念をされるんじゃないかなと、そういうことを含めて、執行部のほうは対策を考えておられるのかなということをお聞きしたかったんですけど、県の標準単価で入札するというのに、そのことについては一切何ら問題ないんですけど、その後に支障がこのような形で発生するんじゃないかなと思われるので、検討しておられるのならその検討しておる内容についてお聞きしたかったんですけど、先ほどの答弁ではどうも検討してないようなんです、よろしいですから。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） じゃあ、執行部からのその他が終わりまして、次に移りたいと思いますので、その他委員さんから何かございましたら。

○副委員長（治徳義明君） はい。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 制限なしのゴールデンウィークが終了しまして、コロナの状況というのは皆様御承知のとおりなんですけども、今アフターコロナ等もいろいろ議論をされているところなんでしょうけれども、この夏の大きなイベントのですね、花火大会はどのようにお考えなのか、その辺の確認をさせてください。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 今年度の花火大会ですが、実行委員会等で協議を行っております。現在のこのコロナウイルスの高止まりというんですか、こういった状況で、高止まりで増減をしているような状況、こういった状況なんかから、中止の方向で決定をなされました。報告が遅くなりまして大変申し訳ありません。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○副委員長（治徳義明君） よろしい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 確認のお話なんですけど、県道です。沼田交差点付近なんですけど、沼田交差点の南側歩道です。南側歩道。ちょうど総菜屋さんがありますが、総菜さんの真正面のあたりです。ここの歩道のお話なんですけども、一部鉄板を敷いているところがありまして、それで鉄板がちょっと曲がるなどして反り返ったりしております。これはどなたかが県のほうに、県道ですから県のほうにお知らせをされて、県が赤いパイロンを置かれて、それで危険ですよってということで危険喚起、注意喚起していただいているんですけども、随分長い間あれが続いているなあという印象を持っております。それで、この状態というもの、あそこは高校生などが、ネオポリスにお住まいになっていらっしゃる方だと思いますけども、自転車で通学される際にお通りになられるところなんです。ああいうその鉄板が反り返るようなところにうっかりその自転車が突っ込んだりしたときに大きなけがをする可能性があるんですけども、通学路の管理、道路の管理というところで、この状況を把握していらっしゃるかどうかというところの確認をお願いしたいのと、あと岡山県のほうで今後どのようにしようとしているのかというところのめど、この確認を取っていただくことというのを市のほうで可能なかどうかというところのこの2点、お尋ねさせてください。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 申し訳ありません。その現状の把握については、申し訳ないんですけど、私のほうではできておりません。県のほうへのお願いというか要望というかというのはうちのほうから十分できますので、今後の対応についてどういった対応になるのかっていうのを調査しまして、早急な対応をするように申出をさせていただきます。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ありがとうございます。お申出をしていただくということはとてもいいんですが、めどが、いつぐらいまでにどうするのかということのめどのほうを県のほうから、答弁というんですか、答えを引き出していただくことっていうのは可能なんですか。それを知りたいんです、皆さん。いつぐらいまでにどうなるのかということを知りたいんですけど。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 県との話になりますので、県のほうがどういう回答をしてくるかわかりませんが、うちとしては皆様がそういうことを望まれているのでありますので、当然めどについても確認を求めてまいります。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） はい、結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、他にないようでございますので、以上をもって産業建設常任委員会を閉会をしたいと思います。あと委員の皆さん、ちょっと協議をしたいことがありますので、御相談したいと思います。協議会をちょっと開催させてください。

以上で産業建設常任委員会を閉会といたします。

大変お疲れさまでございました。

午前11時0分 閉会